個人情報の漏えいに関するお詫びと報告

SCSK 企業年金基金
理事長 清水 康司

平素は SCSK 企業年金基金(以下、当基金)の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記の件、当基金では、SCSK グループ会社(当基金に加入している会社に限る、以下同じ)と、従業員の当基金の加入資格に関する情報を管理するために必要なデータのやり取りを行っています。

今回、当基金から SCSK グループ会社の人事担当者へ送付したデータに、他のグループ会社の従業員の個人情報が含まれている事実が発覚しました。

なお、本件につきましては、すべての SCSK グループ会社の人事担当者に対し、他のグループ会社の個人情報が含まれているデータの削除を依頼、同日中に削除が完了したことを確認しており、二次被害の恐れはございません。

本件につき、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

今回の事態を厳粛に受け止め、個人情報をこれまで以上に慎重に取り扱うべく、再発防止に向けた取り組みを進めてまいります。

なお、本件は個人情報の保護に関する法律第 26 条第 1 項並びに SCSK 企業年金基金個人情報保護管理規程第 13 条第 1 項第 5 号の規定により、個人情報保護委員会と関東信越厚生局へ報告いたしました。

記

1. 発生日
令和 7 年 2 月 26 日～令和 7 年 4 月 21 日
2. 発覚日
令和 7 年 4 月 30 日
3. 発見者
SCSK グループ会社の人事担当者
4. 漏えいが発生した個人データ
令和 6 年 8 月から令和 7 年 2 月に SCSK グループ会社と当基金の加入資格(取得・喪失・標準給与額の変更等)に関する手続きを行った従業員データ
 - ・ 氏名
 - ・ 生年月日
 - ・ 加入者番号(※当基金が加入者を管理するために交付している番号)
 - ・ 社員番号
 - ・ 標準給与額(※年金や一時金額、掛金額算定の基となるもの)
5. 漏えいが発生した人数
9,525 人
6. 発生原因
 - ・ 当基金から SCSK グループ会社に送付するデータを作成するためのマクロ(※作業の自動化プログラム)に不備があったこと。
 - ・ マクロの作成および送付を担当者一人がすべて行っていたため、第三者がマクロの動作および作成されたデータの内容を確認していなかったこと。
 - ・ データを送付する前に、担当者以外の第三者が送付内容と送付先の確認(ダブルチェック)を実施していなかったこと。

7. 再発防止に向けた今後の対応
 - ・ 本件については、データを作成するマクロを改修済。また、データを作成の都度、作成者が印刷のプレビュー画面にて、処理したグループ会社以外のデータが混入していないことを確認する。
 - ・ 本件に限らず、個人情報を外部へ送付する前には、担当者以外の第三者が送付内容と送付先の確認を行う。(ダブルチェックの徹底)

8. 本件に関するお問い合わせ先
SCSK 企業年金基金
電話:03-5859-3104
メールアドレス: scsknenkin-todoke.kd@scsk.jp

以上